
【仮面ライダー】ハヤテのごとく！～キバって行くぜ！～【キバ】

桂 ヒナギク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【仮面ライダー】ハヤテのごとく！〜キバって行くぜ！〜【キバ】

【コード】

N9598E

【作者名】

桂 ヒナギク

【あらすじ】

読者の希望によりハヤテのごとく！でキバをやってみました。読み切りです。

(前書き)

オープニングテーマ：Break the chain

エンディングテーマ：七転八起 至上主義！

キャスト

主演：ヒナギク

ハヤテ

ナギ

マリア

歩

スーツアクター

仮面ライダーキバ：ヒナギク

ファンガイア：マリア

ボイスアクター

キバット：杉田 和

仮面ライダーキバ：ヒナギク

ファンガイア：若本 規夫

撮影

カメラマン：橘 たちばな 巨

撮影協力

三千院家の皆さん

3DCG：橘 巨

脚本：ナギ

製作：Daisy
Wig

2008年、ファンガイアという異形の生命体が現れた……。やつらは、手当たり次第、人間のライフエナジーを吸って回っていた。ことを重く見たミカド・ハイパー・エナジーは、長年研究していたイクサシステムをついに完成させ、ファンガイアたちに戦いを挑むことにした。だが、やつらは想像以上に強く、イクサの力では到底、立ち討ちなど出来なかった。最早、希望を無くして諦め掛けたイクサの前に、そいつは現れた。そいつは、瞬く間にファンガイアを圧倒し、そして撃破するのだった。

東京、練馬の東側に、皇居に見える大きなお屋敷が建っていた。その屋敷の、一人で使うにはかなり広い部屋に、金色の長髪少女が居た。

名は三千院 凧。この屋敷の主である。

「今日もいい天気だな」

ナギは窓の外を眺めながらそう呟いた。

「こういう日は二度寝だ！」

ナギはそう言っただけでベッドに潜り込んだ。そこへ、水色頭の少年がやって来て引っくり返った。

「ちょっとお嬢様！ 冒頭から二度寝なんてしないで下さい！」

彼の名は綾崎 颯。高校時代からこの屋敷で住み込みで働いているナギの執事である。現在は東大生だ。

「ああ、ハヤテか。何の用だ？」

「今日から新学期！ だからお嬢様を呼びに来たんですよ！」

「行かない」

「そんなこと言わないで」

ハヤテがそこまで言ったところで、ナギが掻き消すように叫んだ。
「うるさい！ お前一人で行け！」

「仕方ありませんね」

ハヤテは潔く諦めると、ナギの寝室を出た。

「今日も駄目でしたか？」

メイド服の女性がそう訊ねてきた。名はマリアという。

「ええ、駄目でした。仕方ないので僕一人で行ってきます」

「そうですか。気を付けて下さいね」

その言葉を聞くや否や、ハヤテは自室へ移動し、鞆を手にして屋敷を後にした。

「今日も出るのかな」

ハヤテは先日、ファンガイアに襲われたときのことを思い出した。練馬の駅前で、沢山の死骸に驚いていると、ファンガイアが襲ってきたのだ。

「やっぱり思い出したらゾクゾクするな」

ハヤテはそう口にしながら門の外へ出た。すると、塀に寄り掛かる桃色長髪の少女を見付けた。

「おはよう、ハヤテくん」

金色の髪留めを頭に付けた彼女の名は桂かづら 雛菊。正面から見ると、ナギと瓜二つである。

「おはよう御座います、ヒナギクさん」

ハヤテはニッコリと笑みを浮かべた。

「ナギはまた休み？」

「はい」

「あの娘、一学期もほとんど登校しなかったけど、進級出来るのかしら？」

「無理ですね。白皇と違って、東大は登校日数も成績に響きますから。ところで、ヒナギクさんはどうして僕たちと同じ東大を選んだんですか？」

（好きな人と一緒の学校に行きたいからよ）

と、内心で答えるヒナギク。

「まあ、別にいいですけどね」

さて　と、腕時計を確認するハヤテ。「そろそろ来るころですね」
ハヤテが顔を上げると、正面に人が駆けてくるのが見えた。

「歩！」

ヒナギクが手を振った。

「二人とも、逃げて！」

少女が顔を真っ青に染めながら言った。

「ちよっ、何か襲われてますよ!？」

ハヤテはそう口にするのと逃げ出した。

「こら、置いていくな！」

ヒナギクがハヤテを追い掛けるように逃げ出す。

「きゃっ！」

二人の後ろで少女が転んだ。

「……………!？」

「歩！」

立ち止まって振り返る二人。

「二人とも、私のことは」

そこまで言ったところで、二つの牙が出現して少女の首に刺さった。

「うっ！」

呻き声を上げ、服を残して消滅する少女。

その後ろに、蜘蛛形のファンガイアが立っていた。

「あ、あいつは！」

「知ってるの？」

「はい。この前、駅前で襲われたんです。て言うか逃げましょう!」
ハヤテはそう言って逃げ出すが、ヒナギクは動かない。それどころか、ファンガイアに向けて殺気を放っていた。

「何やってるんですか! 殺されますよ!？」

その言葉にヒナギクは笑った。

「アッハハハハ、私が殺される？ 殺されるのはあのモンスターの方よ」

「どういうことですか？」

そう首を傾げるハヤテに、ヒナギクは言う。

「この私が倒すからよ」

すると、ファンガイアは言った。

「この俺を倒すだと？ ただの人間の女に何が出来る？」

その時、どこからともなく、キバット・バット三世というコウモリ形のメカが飛んできてファンガイアを襲った。

「まさかキバが！？」

ファンガイアは辺りを見渡すが、ハヤテとヒナギクの二人を除いては誰も居ない。

「キバット！」と、ヒナギクが呼ぶと、キバットが近付いてきて左手をガブツと噛みついた。

「キバって行くぜ！」

「変身」

ヒナギクはキバットを右手で掴むと、腰に出現したベルトに装着し、異形の姿、仮面ライダーキバに変身した。

「お前のお得意な剣術で行くぜ！」

キバは右バツクルの青いフェッスルをキバットに銜えさせた。

「ガルルセイバー！」

キバットがそう叫び、キバが飛来した魔獣剣ガルルセイバーを掴むと、左腕と胸、オムニレンズとキバットの眼が青に変色。ガルルフォームに移行した。

「ウー！」

キバは狼のような唸り声を出すと、姿勢を低くして構えた。

「何、見た目は強そうでも中身は女だ。雑魚に決まってる」

ファンガイアがそう言うと、仮面の内側でヒナギクが額に青筋を立てた。

「雑魚はあんたの方よ！」

キバはそう言って、一瞬でファンガイアの懐に移動し、面、胴、小手、突きを放った。

「おいおい、マジかよ?」

キバットが驚いた顔で言った。

「くそつ、女ごときに俺が殺られるとは!」

ファンガイアはそう口にすると、爆裂霧散した。そして、煙の中から白色に光る球が上へと昇っていった。すると、どこからともなくキャッスルドランというドラゴンが現れ、その球を飲み込んで去っていった。

キバは歩の服が落ちている場所に移動してしゃがんだ。

「歩……」

仮面の内側で涙を浮かべるヒナギク。

「キバット、悪いんだけど、暫くこの姿でいさせて」

その言葉にキバットはベルトから離れ、キバの顔の前に移動した。

「どうしたんだ?」

「このライフエナジーを吸われた娘、私の親友なの。だから、悲しくて……」

「そうか。なら気が済むまで泣けばいい」

キバットが優しく言うと、ハヤテが来て口を開いた。

「あの、僕、ザオク使えますよ?」

「ザオク? 何だそれは」

「説明するより実際にやった方が早いです」

ハヤテはそう言うと、少女の服に向かって唱えた。

「ザオク!」

すると天から光りが射し、消滅した筈の少女が復活した。

「あれ、生きてる?」

「えっ?」

キバは蘇った少女を見詰めた。

「歩……なの?」

キバが訊ねると、歩という少女が言った。

「誰かな、この変な格好の人？」

「歩なのね。良かった」

キバはそう言っていると、歩を抱き締めた。

「良かったですね、ヒナギクさん」

「有り難う、ハヤテくん」

「えっ、ちよっ、何なの？ て言うかこの人、ヒナさん!？」

「な、何を言ってるのよ。私は通りすがりのヒーロー、キバよ」

キバはそう言っていると、歩を放して去っていく。その後をハヤテが追
い掛けた。

「ヒナギクさん、学校どうするんですか!？」

「バカ、私の名前言ったら歩にバレちゃうでしょ!？」

See you again .

(後書き)

東映スタッフの皆さん、
テレ朝の皆さん、
勝手にやったこと、
深く
お詫び申し上げます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9598e/>

【仮面ライダー】ハヤテのごとく！～キバって行くぜ！～【キバ】

2010年10月8日10時31分発行